

令和 8 年度 全国学力・学習状況調査の結果について（速報）

1 調査概要

- (1) 実施日 令和 8 年 4 月 23 日（木）
- (2) 対象 小学校第 6 学年の児童、中学校第 3 学年の生徒
- (3) 参加児童・生徒数（国語実施時）
区立小学校 6,234 人（61 校）【全国（公立）】小学校 922,411 人
区立中学校 3,492 人（30 校）【全国（公立）】中学校 841,873 人
- (4) 調査目的
- ① 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童・生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
 - ② 学校における児童・生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
 - ③ ①②を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (5) 調査内容
- ① 教科「国語」＝知識・技能等、活用を一体的に問う問題
 - ② 教科「算数・数学」＝知識・技能等、活用を一体的に問う問題
 - ③ 教科「英語」（中学校のみ）＝知識・技能等、活用を一体的に問う問題
中学校英語は、生徒が活用する ICT 端末等を用いた、文部科学省 CBT システムによるオンライン方式で実施し、IRT（項目反応理論）に基づき算出したスコアにより結果を表示している。
 - ④ 質問調査＝学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

2 調査結果（教科ごとの平均正答率）

(1) 小学校

	平均正答率	
	国語	算数
世田谷区	69%	69%
都（公立）	65%	63%
国（公立）	60.9%	56.4%

(2) 中学校

	平均正答率		平均IRTスコア※
	国語	数学	英語
世田谷区	70%	65%	550
都（公立）	68%	62%	530
国（公立）	63.9%	57.0%	499

※英語 3 技能「聞くこと」「読むこと」「書くこと」のスコアである。

3 調査結果の活用について

- (1) 教育委員会は、区全体の状況や課題等についてまとめ、校長会や各種研修会などで活用し、各学校が指導方法の改善・充実に生かすよう指導する。
- (2) 各学校は、児童・生徒や自校の課題等を把握し、授業改善の方策や次年度の教育課程の編成に生かす。
- (3) 学校ごとの平均正答数や平均正答率などの数値の公表は行わない。

4 今後のスケジュール（予定）

令和 8 年 12 月 文教常任委員会で報告